

## <表現未来の会：第2回研究会>

### -身体表現の可能性-

**開催趣旨：**これまで私たちは、被災地東松島市において、共に表現し、共に生きていく力を生み出すワークショップを3回（2012年12月11日、2013年2月11日、3月20日予定）にわたり開催してまいりました。今回は、前回研究会（2012年12月26日）で報告されたWS参加者の体験談等を踏まえながら、新しい共創のコミュニティづくりにおける「身体表現の可能性」について、分野、年代を超えた様々な視点から話題提供していただき、私たち自身が目指す「これから」を明らかにしていきたいと思えます。

**日時：**3月28日 木曜日 午後1時より午後5時45分

**会場：**早稲田大学 西早稲田キャンパス 55S号館 2階 第四会議室 (<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/>)

**主催：**表現未来の会 **協力：**東洋英和女学院大学 死生学研究所・早稲田大学 総合機械ものひとこと研究所

#### プログラム

午後1時-1時15分 開会の辞 三輪敬之（早稲田大学）

午後1時15分-1時45分 西洋子（東洋英和女学院大学）

「周縁の滲む先に～これまでとこれから～」

<身体表現の可能性（その1）> 司会；板井志郎（早稲田大学）

午後1時45分-2時 弓削田綾乃（早稲田大学）

「被災地で一緒に身体表現するということ～幸せな感覚はどこにつながるのだろうか～」

午後2時-2時15分 秋田有希湖（鶴見大学短期大学部）

「いつも表現が教えてくれる」

午後2時15分-2時30分 前川美行（東洋英和女学院大学）

「心理療法という出会いが生み出すもの」

午後2時30分-2時45分 板井志郎（早稲田大学）

「共創表現の創出を支援するメディア技術を目指して」

午後2時45分-3時 野口晴子（早稲田大学）

「社会的・経済的属性と表現」

午後3時-3時15分 吉川京子（金沢大学）

「地域から学校教育へ～うごく・ゆるむ・つながる～」

午後3時15分-3時30分 渡辺貴文（早稲田大学）

「被災地での共創表現活動に参加して～計測でなく“私たち”の記録を目指して～」

3時30分-3時45分 休憩

<身体表現の可能性（その2）> 司会；弓削田綾乃（早稲田大学）

午後3時45分-3時55分 葛間香里・石井友佳（東洋英和女学院大学3年）

「私たちが出会い、つながることについて～保育を学ぶ立場から～」

午後3時55分-4時5分 笠井絵未（青山学院大学1年）・中田麻衣子（武蔵野美術大学4年）・

三木麻晃子（こども教育宝仙大学3年）・木津石生（専修大学附属高等学校3年）

「表現に出会う場を広げる～ダンスフィールドと東松島のワークショップ」

午後4時5分-4時15分 上原拓也・吉田直弘（早稲田大学4年）・岩成大河（早稲田大学3年）

「東松島ワークショップの記録活動～つながりあうことの記録に向けて～」

午後4時15分-4時25分 大川日向子（大田区立第六中学校3年）・木津風香（桐朋女子中学校2年）

「つながりのしらせ～東松島市を訪れて～」

午後4時25分-4時40分 休憩

午後4時40分-5時30分 総合討論 司会；野口晴子（早稲田大学）・三輪敬之（早稲田大学）

午後5時30分 閉会の辞 西洋子（東洋英和女学院大学）

午後5時40分 終了

以上